

ウルムチ地域水資源需給平衡評価環境及び対策に関する研究.

Equilibrium analysis of supply and demand water resources evaluation environmental and countermeasures in Urumqi region.

TAWAKUL YARMUHAMED[1]; 佐土原 聡 [2]; 吉田 聡 [3]; 川崎 昭如 [4]

YARMUHAMED TAWAKURI[1]; Satoru Sadohara[2]; satoshi yoshida[3]; Akiyuki Kawasaki[4]

[1] 横国大・環境; [2] 横国大・環情; [3] 横国大・環境情報; [4] 横国大・環情

[1] YNU; [2] Environment and Information Sciences, Tokohama Nat. Univ.; [3] Environment and Information Sciences, yokohama Nat. Univ.; [4] Environment & Information, YNU

水は、土地とともに国土を構成する重要な要素であり、生態系を良好な状態に維持し、ゆとりや美しさに満ちた生活を実現するために欠くことのできない貴重な資源である。

長期不合理な開発利用により、水資源の不足がもたらされ、植生の枯死、土地の退化、緑州の萎縮、草場の退化が引き起こされる；かつ水資源の利用妥当の結果で生態環境は河流短縮、湖沼の枯渇、地下水位下降、地下水質悪化、土地砂漠化、塩漬け化の拡大、水土流失が激化する等主要な生態環境の進展変化するものである。

ウルムチ地区の水資源状況を把握し、地下水を中心とした水資源開発利用の現状について、GISを援用して分析すると共に、計画的で適切な水資源開発利用管理基本計画の策定に関する手法について提言する。また、人間活動の影響で環境変化しているウルムチ地区の発展と生態環境を両立させる持続可能な発展について提言する。水需給の安定化、水環境の保全・活用等の方向性を示すについて提言する。